

Annual Report

2020

NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART, OSAKA



2020年度 大阪中之島美術館 アニュアルレポート

「目次」

I 新しい美術館のめざす姿

II 館長 あいさつ

III 大阪中之島美術館の活動方針

IV 事業報告

V 予算・決算

VI 美術館の運営方法

VII 運営会社概要

VIII 施設概要

IX 大阪中之島美術館の沿革

I 新しい美術館のめざす姿

2022年2月2日、大阪の中核であり、水都のシンボルである中之島にいよいよ新しい美術館が誕生します。1990年に準備室が設置されてから30年もの年月が過ぎ、めざすべき美術館像は時代の流れの中で変わっていきました。では、21世紀に誕生する美術館は、今、そして未来の大阪、日本、世界において、どのような役割を担うべきなのでしょうか。

大阪中之島美術館は、2022年2月2日に開館するにあたり、下記のビジョンを掲げます。

1 歴史をつなぎ、未来を創造する

美術館の基本を「いま」に結び、「これまでにない」をめざすこと

19世紀後半から現代までの美術とデザインを専門とし、収集・保存、調査・研究、展示・公開・普及という美術館の本格的機能を果たすと共に、既存の枠にとらわれない大阪の進取の精神にならい、新しい創造活動を発掘し、支えます。

2 情報や知識、発見や感動の循環をうながす

美術館の扉を開くだけに留まらない。さらに先へ、進みひらいていくこと

誰でも気軽に立ち寄ることができる「パッサージュ（遊歩空間）」を中心に、魅力的な「場」として、知識や経験が交わる「機会」を生み出す美術館として、情報・人的資源の芽を育み、社会へと送り出し、その循環と活用を促進します。

3 つながりを原動力とする

「足りないこと」を可能性としてとらえ、手をとり合う相手を探すこと

多様な第三者との連携によって機能や事業の発展を図る「協働する美術館」、市民と共に学び合う「共育する美術館」として、大阪・中之島をはじめ、さまざまなコミュニティの一員として社会と共に変化し続けます。

4 大阪に貢献する

大阪の「これまで」を活かし、世界に「これから」を発信し、中之島にて、ひと・こと・ものが、歩みを共にすること

大阪の歴史が培ってきた文化的土壤に根を下ろし地域文化を育み、中之島の芸術文化ゾーンの中心的かつ大阪の新しいシンボルとなる美術館として、大阪から全国へ、また世界に向けて、人々の心を動かす創造力を発信します。

II 館長 あいさつ

大阪中之島美術館は 2022 年 2 月 2 日に開館します。

1990 年に準備室が設置されてから 30 年— バブルと呼ばれた時代に産声を上げ、その後の大きく厳しい社会変化を乗り越えての開館です。

30 年は、美術館の開館準備には長すぎる年月だったかもしれません。しかし、作品収集にとってはとても実り多き日々でした。佐伯祐三作品群の受贈に始まり、アメデオ・モディリアーニやルネ・マグリット、フランク・ステラなど、時代を画したアーティストの代表作の購入、さらには市民の皆さんから多数のご寄贈を賜り、今では約 6000 点の国内有数のコレクションを形成することができました。

大阪は 2025 年の大阪・関西万博に向け、新たな未来図を描こうとしています。

しかし昨今の新型コロナウイルスの流行が、描きかけの図に濃い影を落としているのも事実です。私たちは、光と影が交錯するこの現代に、ウィズ・コロナ、アフター・コロナの社会に活ける美術館として、市民の皆さんと時に手を携え、時に議論を交わしながら、新しい美術館の像と活動を結びたいと準備を進めています。

多くの方々に足を運んでいただける展覧会の開催はもちろん、訪れること自体が楽しみとなるような施設や機能を備え、市民の皆さんにとって、「ここから始まるアート」を動かすプラットフォームとなることを、大阪中之島美術館はめざしています。

大阪中之島美術館 館長
菅谷富夫

III 大阪中之島美術館の活動方針

企画展

近代から現代に至る美術・デザインなどの造形文化を中心に、国内外のさまざまな分野の優れた作品や動向に注目した展覧会を開催します。作品の魅力を最大限に生かし、驚きや感動の場一心が揺すぶられ、わくわくする体験の場をつくります。これまでにない当館独自の視点によって、作品や作家、美術の流れやそれらを取り巻く状況を捉え、新しい意味や意義を開拓する企画や、今まさに展開する美術制作を現在進行形で追う試みなどを展開します。大阪から世界へ—大阪中之島美術館は、アートの新しい価値を発信し、問い合わせていきます。

コレクション展

大阪中之島美術館が誇る約 6000 点のコレクションを、多彩なテーマによって紹介します。コレクション展は、美術館の“顔”であるアメデオ・モディリアーニや佐伯祐三の作品に出合える場所であり、コレクションの広がりと深みに触れる機会となります。世界的に高く評価される戦後の大阪の美術グループ「具体美術協会」と、このグループを先導した吉原治良の作品も、コレクションの重点の一つであり、その魅力を積極的に発信します。新収蔵作品や、充実した研究活動による新知見の発表など、絶えず内容の刷新につとめ、訪れるたびに新たな発見や気付きのある、変化し続けるコレクション展をめざします。

ラーニング | リサーチ

大阪中之島美術館は、「学び合い」を活動の重要な軸とし、多様な背景や目的を持つ人びとと「共に」経験をつくり、積み上げていきます。企業や大学など外部組織との連携も、当館の活動の大きな機動力であり、「インダストリアルデザイン・アーカイブズ研究プロジェクト (IDAP)」や「クリエイティブアイランド中之島」などの協働プロジェクトを開館前より進めています。現存作家やアート関係者への「オーラルヒストリー（口述の歴史）」の聴取・公開も、重要な研究活動の一つです。当館が集積する「具体美術協会」をはじめとする資料群は、アーカイブズ情報室で広く公開され、学び合いに寄与します。

【アーカイブズ】

大阪中之島美術館はアーカイブズの構築と運営を美術館の主要事業の一つとして位置付けます。開館後はアーカイブズ情報室を設置して調査や閲覧に対応し、貴重な資料群の公開と活用を行ってまいります。その柱の一つが具体美術協会に関するアーカイブです。「具体」の調査研究センターとしての機能を果たすとともに、作品と資料が同じ施設にあることを生かし、資料と作品との相乗的な展示を図ってまいります。また、広告史に関する萬年社の貴重な資料群や、会員制広告研究誌『プレスアルト』、大阪中之島美術館の整備や活動に関する資料群なども、アーカイブズとして整備していく予定です。

IV 事業報告

今期は開業までの準備作業を中心に、事前広報活動、美術館に入る店舗のリーシング、ホームページの立ち上げや、チケット販売システムの構築、施設運営管理の組織体制を構築しました。

事前広報活動では2月ホームページを立ち上げ、展覧会の予定やイベント情報、コレクションなど開業に向けた情報発信に加え、大阪中之島美術館の存在を幅広い層に知って頂くため、テレビや新聞・雑誌に積極的に情報を発信しました。（詳細一覧表参照）10月には、美術館が保有する所蔵品のうち約100点への思い出や高まる期待を語ってもらう「コレクションへのラブレター」を募集し、新聞社・放送局を含め主要メディアや美術専門誌を発行する出版社など約3,000カ所にそのリリースを発送しました。さらに新しい総合パンフレットを約3,000部作成しました。

2021年2月には、大阪中之島美術館館長の菅谷富夫と、わが国を代表する歌謡・ポップスの作詞家・松本隆氏との対談「中之島 dialogue for 2022」を開催。音楽と美術のそれぞれの分野で一流の人材が大阪中之島美術館への期待やエールを語る「異空間対談」を実現させました。

店舗リーシングではミュージアムショップやレストランなどの候補会社の発掘に向け精力的なりーシングを展開していますが、コロナウイルスの拡大という異常事態にさらされ、苦戦を強いられています。

開館日からの記念展覧会は「Hello! Super Collection 超コレクション展—コレクションをめぐる99のものがたり—」。NHK、読売新聞社と大阪中之島美術館が共催し、所蔵作品約6,000点の中から代表的な作品約400点を選び、美術館の4階、5階の全展示室を使い一堂に公開する予定です。開館期間は42日で9万2400人の鑑賞客を見込んでいます。

【情報発信一覧表】

No.	媒体種別	発行日	媒体名	媒体社名	内容
1	テレビ	2021/2/26	地域情報番組「チームペイコム」 (株)ハイ・コミュニケーションズ		「コレクションへのラブレターを大募集」作品紹介
2	テレビ	2021/3/17	報道番組「キャスト」	朝日放送	バース図（外観・内観）作品画像
3	テレビ	2021/3/20	NHK	NHK	バース図（外観・内観No.11,12）
4	新聞	2020/11/16	教育家庭新聞	教育家庭新聞社	画像掲載申込（外観）
5	新聞	2020/12/1	日刊建設工業新聞	株式会社 日刊建設工業新聞社	建設工事
6	新聞	2020/12/24	朝日新聞大阪本社版	朝日新聞	ラブレター募集告知掲載依頼
7	新聞	2021/1/19	朝日新聞大阪本社版	朝日新聞	夕刊「朝日新聞の窓」ラブレター募集告知掲載依頼
8	新聞	2021/2/9	朝日新聞大阪本社版	朝日新聞	夕刊「朝日新聞の窓」松本隆トークイベント告知掲載依頼
9	新聞	2021/2/24	朝日新聞大阪本社版	朝日新聞	夕刊「朝日新聞の窓」
10	新聞	2021/3/18	大阪日日新聞	大阪日日新聞	バース図（外観・内観）定点観測写真
11	新聞	2021/3/18	読売新聞	読売新聞大阪本社	バース図（外観・内観）定点観測写真・作品
12	新聞	2021/3/18	加盟地方紙	共同通信	バース図（外観・内観）定点観測写真・作品
13	新聞	2021/3/31	日経新聞	日本経済新聞社	菅谷館長インタビュー
14	WEBサイト	2020/10/19	大阪スケジュール	ビッグアップル・プロデュース	パンフレットの表紙と建物の外観の画像データ使用申請
15	WEBサイト	2020/10/23	ウェブ版「美術手帖」	美術出版社	画像4点掲載申込（No.3.4.5.7）
16	WEBサイト	2月中	インターネットミュージアム	インターネットミュージアム	展覧会紹介ページ
17	WEBサイト	2020/12/28	エルマガジン	京阪神エルマガジン社	ラブレター募集告知掲載依頼
18	WEBサイト	2021/3/18	KENCHIKU	(株)建報社	バース図（外観・内観No.10,11,12）
19	WEBサイト	2021/3/25	Fashion Press	(株)カーリン	コレクション展、モディアーニ展、開館情報
20	WEBサイト	2021/3/30	ウェブ版「美術手帖」	美術出版社	開館記念展覧会の紹介
21	雑誌	2020/11/20	別冊太陽	押金編集事務所	工芸特集での図版借用のお願い
22	雑誌	2020/12/6	「THE21」「歴史街道」	PHP研究所	画像掲載申込
23	雑誌	2020/12/10	観光（大阪観光コレクションVol.4）	エディットプラス	画像掲載申込（外観・内観・コレクション6・8）
24	雑誌	2020/12/20	美術の窓	生活の友社	「2021年新アートスポット」コーナー⇒日本全国都道府県別美術館カタログ
25	雑誌	2020/12/20	美術の窓	生活の友社	1月号展覧会特集内コラム
26	雑誌	2020/12月号	月刊島民	14OB	開館イベント（ラブレター/ホームビデオ）
27	雑誌	2月中旬	るるぶ大阪ベスト'22	C&E編集課	画像掲載申込（外観・内観）
28	雑誌	3月号	月刊美術	株式会社サン・アート	松本氏・館長画像
29	雑誌	3月末	おとな旅プレミアム大阪	K&B/パブリッシャーズ	開館告知
30	フリーペーパー	3/末	会報誌「たより」	高岡市美術館友の会事務局	美術館紹介コーナー「ニューオープン＆リニューアル」
31	その他（ ）	2021/3/1	MamaTabi	(株)OFFSTYLE	「インフォメーション枠」ラブレター募集告知掲載依頼
32	その他（ ）	2021/3/10	Osaka Museums	大阪市博物館機構	機構広報誌16号「スケジュール欄」「コレクションギャラリー」
33	その他（ ）	2021/3/10	いちょう並木	大阪市教育振興公社	ミュージアムトピックス

V 予算・決算

予算 ※2020年度は会社設立初年度のため、予算は作成しませんでした。

決算

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
【流動資産】	30,676,929	【流動負債】	620,143
		【固定負債】	110,000,000
【固定資産】	110,000,000	負債合計	110,620,143
		純資産の部	
		【株主資本】	30,056,786
		純資産合計	30,056,786
資産合計	140,676,929	負債・純資産合計	140,676,929

損益計算書

自 2020年4月1日 至 2021年3月31

(単位：円)

科目	金額
売上高	26,227,000
販売費及び一般管理費	25,513,192
営業利益	713,808
営業外収益	377
営業外費用	330,299
経常利益	383,886
税引前当期純利益	383,886
法人税、住民税及び事業税	327,100
当期純利益	56,786

VI 美術館の運営方法

大阪中之島美術館は、「民間の知恵を最大限活用しながら、顧客目線を重視し利用者サービスに優れたミュージアム」というコンセプトを掲げるとともに、大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信のための重点取組にも位置付けられるなど、これまでにない新たな魅力を持った施設をめざしています。

このように、大阪の都市魅力を世界に発信する施設として、また、中之島のまちづくりに貢献する施設として、高い話題性と集客力が求められることから、新たな手法として、民間事業者が経営に直接携わることで創意工夫が最大限発揮される、PFI法（※1、※2）における公共施設等運営事業「コンセッション方式」を日本の美術館として初めて導入しました。これにより、今後、「効果的な情報発信や話題性のあるイベントの開催などによる集客力の強化」「魅力的なサービス施設の誘致などによる付加価値の向上」「官民連携によるエリアプロモーションの展開」などさまざまな効果を発揮してまいります。

PFIを担う事業者につきましては、2019（令和元）年度に地方独立行政法人大阪市博物館機構が実施した募集手続きにおいて、株式会社朝日ビルディングが優先交渉権者に選定され、翌年度4月1日付にて同社が設立した特別目的会社「株式会社大阪中之島ミュージアム」と公共施設等運営権実施契約を締結しました。

以上の経緯のもと、大阪中之島美術館は株式会社大阪中之島ミュージアムが運営します。

また、館長及び学芸員は地方独立行政法人大阪市博物館機構から、この大阪中之島ミュージアムに向かし、専門学芸員と民間のノウハウが融合することによる今日的な美術館モデルを模索してまいります。

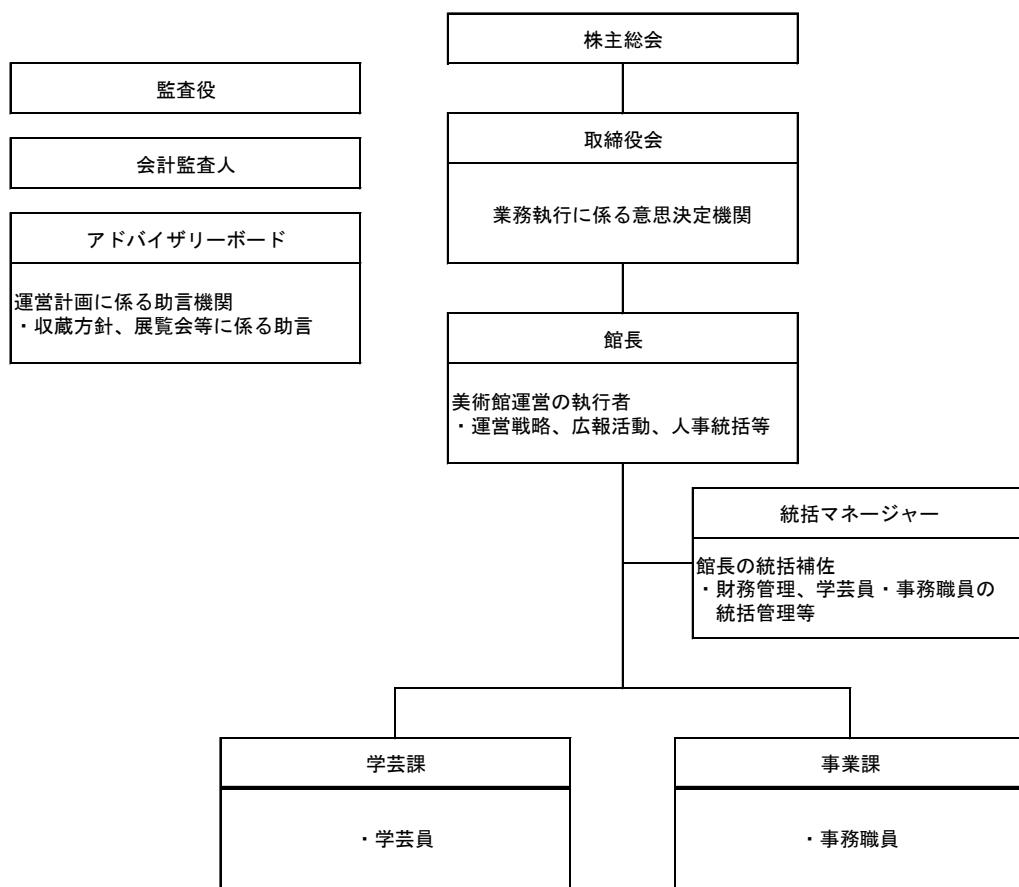
※1 PFI：Private Finance Initiative の略で、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、効率的で質の高い公共サービスの提供を図るもの

※2 PFI法：民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律

VII 運営会社概要

商 号 株式会社 大阪中之島ミュージアム Osaka Nakanoshima Museum Co., Ltd.
法人番号 1120001228271
所 在 地 〒5300005 大阪市北区中之島 4 丁目 3 番 1
設 立 日 2020 年 4 月 1 日
資 本 金 1500 万円
代 表 者 代表取締役 曽根 宏司
営業種目 (1) 大阪中之島美術館の運営事業、不動産の管理
(2) 前号に付帯関連する一切の業務

組織図

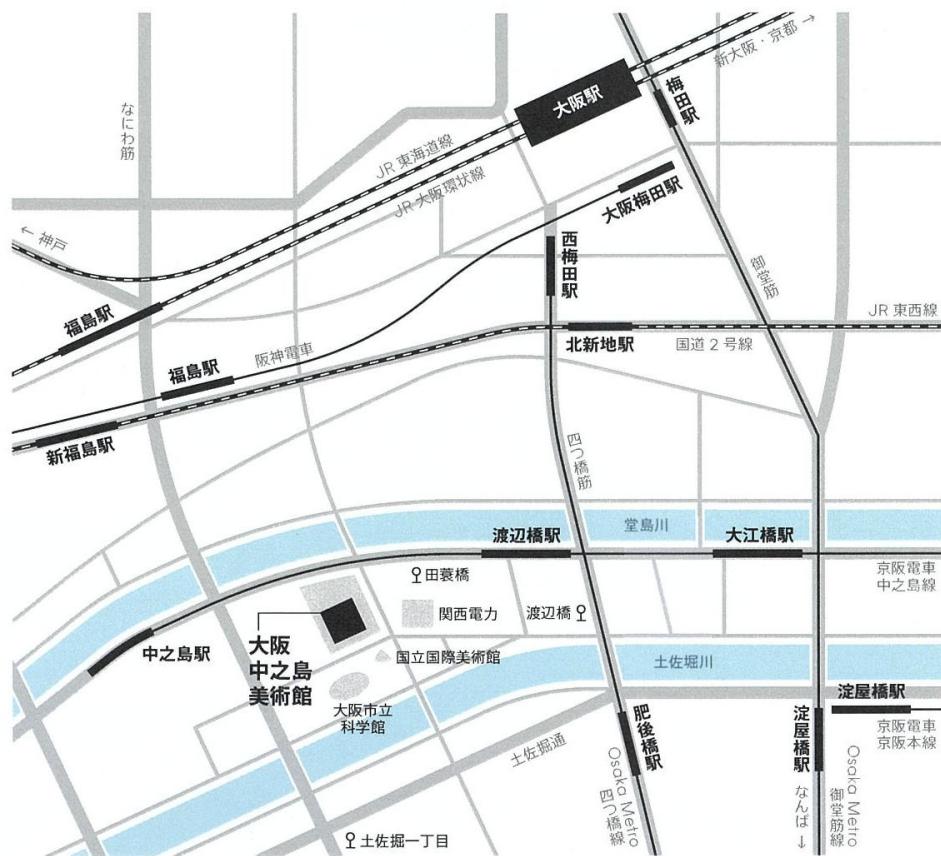


職員名簿 2021 年 3 月 31 日現在 0 名

※2021 年 7 月 1 日付の建物引渡しを機に地方独立行政法人大阪市博物館機構と株式会社朝日ビルディングから出向者を受け入れる予定。

VIII 施設概要

所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-1 06-6479-0550 (代表)
案内図



構造・規模	鉄骨造、基礎免震、地上5階建
延床面積	17305 m ² (駐車場・駐輪場除く)
各床面積	1階 ホール 411 m ² ワークショップルーム 134 m ² サービス施設(店舗) 712 m ² レストラン、カフェなど
2階	アーカイブズ情報室 70 m ² 親子休憩室 81 m ² サービス施設(店舗) 221 m ² ミュージアムショップなど
4階	展示室1 682 m ² 天井高4m／壁付展示ケース設置／可動間仕切設置 展示室2 733 m ² 天井高4m／可動間仕切設置
5階	展示室3 591 m ² 天井高6m／可動間仕切設置 展示室4 733 m ² 同上 展示室5 409 m ² 同上

IX 大阪中之島美術館の沿革

- 1983年 8月 大阪市制100周年記念事業基本構想の一つに近代美術館の建設が盛り込まれた
- 1988年 11月 近代美術館構想委員会発足
- 1989年 4月 大阪市美術品等取得基金設置（基金額30億円）
- 1989年 12月 近代美術館構想委員会（近代美術館構想に関する答申）
- 1990年 11月 近代美術館建設準備室設置
- 1991年 11月 近代美術館基本計画委員会発足
- 1996年 5月 大阪大学医学部跡地の埋蔵文化財調査を実施し、船入遺構の石垣の列等を確認
- 1998年 3月 近代美術館基本計画委員会より、「近代美術館基本計画」の答申を受ける
- 1998年 10月 近代美術館建設用地として、大阪大学医学部跡地のうち、南半分8000m²を購入
- 2001年 2月 大阪大学医学部跡地船入遺構の現地説明会を実施
- 2002年 3月 埋蔵文化財現地調査終了
- 2003年 2月 北半分8035.22m²を国から購入
- 2004年 10月 「心斎橋展示室」開設
- 2012年 11月 「心斎橋展示室」閉室
- 2013年 2月 中之島に新しい美術館を整備することを、戦略会議で決定
- 2013年 6月 市立美術館と新美術館の「建物の統合」は行わず、東洋陶磁美術館を含めた3館について「経営統合」をめざすことを戦略会議で決定
- 2014年 4月 戦略会議において「新美術館整備方針（案）」の内容を確認し、2020年度までの開館をめざすことを決定
- 2014年 9月 「新美術館整備方針」を策定
- 2016年 3月 施設整備は公共で実施し、運営にPFI手法を導入する方針を決定
- 2017年 2月 公募型設計競技（設計コンペ）により設計者を選定
- 2017年 9月 基本設計業務完了
- 2018年 10月 美術館の名称が公募により「大阪中之島美術館」に決定
- 2018年 11月 大阪新美術館建設準備室を大阪中之島美術館準備室に改称
- 2019年 2月 建設工事着手
- 2019年 3月 公募型プロポーザルによりVIデザイナーを選定
- 2019年 4月 地方独立行政法人大阪市博物館機構設立
- 2019年 6月 大阪中之島美術館の運営におけるPFI事業の実施方針の公表 特定事業の選定及び募集要項等の公表
- 2020年 2月 PFI事業の優先交渉権者の公表
- 2020年 4月 株式会社大阪中之島ミュージアムと公共施設等運営権実施契約を締結



大阪中之島
美術館
NAKANOSHIMA
MUSEUM OF ART,
OSAKA